

- (6) **福島県標準学力診断検査問題による学力分析報告書**  
 県内各小学校が全県の立場から自校の児童の学力の実態を把握・診断し、教育計画や学習指導の改善に役立てようとした。研究報告書として刊行した。
- (7) **理科教材・空中写真・立体視鏡・理科 I ・物理教育研究、理科移動教材の『手引』を**発刊した。

生徒実習を行っている。  
 来所しての利用状況（県内高等学校生徒）

学 科	学校数	実 人 数	延 べ 人 数
商 業 科	5	655( 41.2%)	655( 33.0%)
工 業 科	6	921( 57.9%)	1,302( 65.7%)
普通科等	2	15( 0.9%)	25( 1.3%)
計	13	1,591(100.0%)	1,982(100.0%)

## 第 6 節 情報処理教育生徒実習

### 1 電子計算機の実習

センターにおける生徒実習は、文部省の情報処理教育センター設置要項（昭和45年11月）に基づくもので、主として県立高等学校の生徒を対象として、昭和47年度から実施している。

センター利用の方法には、①来所しての利用と、②郵送による利用とがある。後者は、本県が広域県なので、遠隔地の学校の利用に対処してとられた方策の一つである。

#### (1) 来所しての利用

教育課程の教科・科目のなかに、情報処理教育をとり入れている学校が、年次計画の一環として、センター利用の

#### (2) 郵送による利用

遠隔地のため、来所できない学校や、電子計算機を設置していない学校の生徒実習のために、郵送による OMR 利用を実施している。

本年度の利用は、2校・延べ人数 150人であった。

### 2 数値制御工作機械の実習

工業高等学校・機械科の生徒が、センターの数値制御装置と工作機械（フライス盤）を利用して行う実習で、本年度は、3校・延べ人数 343人であった。